

陸上自衛隊福知山射撃場周辺地域における騒音測定結果の概要(4回目)

近畿中部防衛局は、陸上自衛隊福知山射撃場から生じる射撃音の周辺地域への影響について、実態把握のための調査を行い、その結果概要を下記のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

当局としましては、今後も継続して調査を行ってまいります。

【騒音測定結果の概要】

- (1)測定日時：平成29年5月24日(水) 9時15分～14時20分(測定時間：5時間5分)
測定時間中、射撃準備などにより射撃音が発生しない時間が存在することを確認。
- (2)気象状況：曇り 風：微風
- (3)対象音源：25m射座からの射撃音(米軍)

測定地点 (下図参照)	音源からの 推定距離	検知回数	A特性騒音レベル(注1)	
			最小騒音レベル～最大騒音レベル 【 】内は暗騒音(注2)	パワー平均値 (注3)
【測定点①】 直近住宅(屋外)	約200m	714回	62デシベル～76デシベル 【42～50デシベル】	69.3デシベル
【測定点②】 近傍住宅(屋外)	約400m	803回	55デシベル～70デシベル 【35～40デシベル】	62.6デシベル
【参考測定】 射撃場内(土堤上)	—	1,191回	83デシベル～101デシベル 【38～45デシベル】	92.4デシベル

- (注1) A特性：人間の耳で感じる音に近似した周波数特性。
- (注2) 暗騒音：測定の対象とする特定の音(射撃音)以外のすべての騒音。
- (注3) パワー平均値：個々の騒音レベル(デシベル値)を音のエネルギー量に戻して平均し、再度デシベル値に変換した値。

福知山射撃場周辺地域騒音測定位置図

